

クラノワ・カルーク・オーケストラ

新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防を目的とした

活動のためのガイドライン

（第1版 2020年6月23日 作成）

【目的】

このガイドラインは、クラノワ・カルーク・オーケストラ（以下、クラノワ）が新型コロナウイルス（COVID-19）の流行下においてその感染を予防しながら安全に活動を継続するために、クラノワ所属の団員が守るべき事項を示したものである。

なお、前提として、クラノワの全ての活動は新型コロナウイルスの感染拡大状況に優先されるものではない。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念がある場合は、即時に活動の一部または全てを中止する。また、行政（政府および自治体）が示す規制が発効された場合はそちらに従うものとする。

【ガイドライン本文】

1. 活動への参加

- 団員は新型コロナウイルスの感染が疑われるような体調異常（発熱、咳、倦怠感、味覚・嗅覚異常 等）を活動日含め 14 日以内に感じた場合は活動に参加しない。発熱症状に関して、団員は活動日当日の朝に検温を行い、37.0℃以上の場合は活動への参加を不可とする。
- 海外、または感染流行地（行政が発表したクラスター発生地域）などへ行った団員は原則としてその地域に滞在した最終日より 14 日間は活動参加を自粛する。
- 活動のうちオンラインで行われるもの（会議等）に関しては、オンラインでの参加であれば上述の参加不可である団員であっても参加可能とする。
- クラノワとして活動を行う場合でも、団員は各自の状況（仕事、家庭の都合等）により自発的に参加を自粛することは問題ない。

2. 活動場所

- 当日の活動参加人数に比して余裕がある広さの会場にて活動を行う。活動場所の広さは、会場の定員数が当日の活動参加人数の 1.5～2 倍程度であることを原則とす

るが、最終的には当日の活動参加人数と状況に応じ、役員が活動実施の可否を判断する。

- 活動場所の広さによっては、活動参加人数を制限することがある。この最終判断は役員にて行う。
- 活動実施の可否を事前に判断するために、団員は練習日ごとの参加予定入力（伝助にて入力）を原則として活動日 1 週間前までに入力する。

3. 活動時に行うべき内容

- 活動場所に入る前にアルコールまたは次亜塩素酸水等による手指の消毒を行う。
- 活動時は楽器を演奏する時以外マスクを着用する。
- 活動中は 40 分～1 時間毎を目途に休憩を取り、窓やドアを開けて活動場所の換気をする。
- 楽器演奏時、水分（唾液）を会場内の床に落とさないよう、雑巾等を持参する。床に水分が落ちた場合は残らないよう処理をする。
- 活動時のソーシャルディスタンスとして、団員同士の間隔は以下の通りとする。
 - 横並びの間隔は 2m を原則とするが、最低限 1m とする。
 - 前後の間隔は 2m を原則とする。ただし、同じ方向を向いて座る場合は、前後の位置が被らないよう配置ができる時に限り 2m より短い距離（原則として 1m はあけること）でも問題ない。
- 楽器演奏時の指導者は、最前列の演奏者から 1.5～2m の距離（原則として 2m）を保ち、かつ、マスク着用にて指導する。
- 活動出席者は漏れなく記録する。

4. 活動後に行うべき内容

- 活動場所は、会場となる施設の新型コロナウイルス対策規定に従って原状復帰を行う。
- 使用したスワブは演奏した活動日ごとに洗濯することを原則とする。
- 活動参加（オンラインを除く）後 14 日以内に新型コロナウイルスの感染が疑われるような体調異常が発生した団員は、その旨を役員に知らせる。役員は知らせを受けた場合、団内への周知、活動の継続可否の判断、必要に応じた行政への報告等を行う。

以上